

全国山名氏一族会
〒667-1311 兵庫県美方郡香
美町村岡区村岡2365 法堂寺内
電話 0796-198-1115
FAX 0796-198-1116

山名会歴史講演会及び第23回総会の続報

来る11月13日開催の山名会総会並びに山名会歴史講演会実施に向けて準備を進めています。昨年は一般聴講の方を含めて全体で120名余の皆さんが歴史講演会にご参加いただきました。今回の行事もまた皆様のご協力を頂きまして、昨年を上回る規模での行事開催が行えますことを期待しています。

歴史講演会ポスター作成

山名会歴史講演会の案内をメインとした一般聴講者対象のポスターとチラシを作成いたしました。

また、山名会会員の幾人かの指示を願おうと考えています。また、9月中旬に京都周辺の歴史関係の博物館等にお配りして掲示を願おうと考えています。

山名会歴史講演会・聴講者募集のご案内

京の地と山名氏

山名氏有縁の者を中心に組織する全国山名氏一族会では下記の如く、「京の地と山名氏」と題しました歴史講演会を計画致しました。

今回の講演では、華頂短大の伊藤真昭教授に、「秀吉・家康期の山名禪高」と題して、戦国の世、山名の命脈を後世に伝える事に必死の努力をした山名豊国(禪高)公について、ご専門の文献研究の見地から見た人物像・武将像について光を当てていただこうと思います。

また、日本南園院会長の町田泰宣(龍山寺僧長)には、中国発祥の南園が日本に定着していった過程や、南園そのものの楽しみ方などを、様々な面を見ながらお教え願おうと思っております。

現在、歴史講演会の聴講者を募集中です。同行事にご興味をお持ちの方なら何方でも歓迎いたします。是非とも多くの皆様、お気軽にお申込下さいませようご案内申し上げます。

平成28年9月吉日

山名会歴史講演会『京の地と山名氏』

日時:	平成28年11月13日(日) 午後1時~5時
会場:	京都華頂大学「華頂ホール」 京都市東山区林下町3-4-5 京都華頂大学6号館4F TEL:075-551-1188
講演者:	・「秀吉・家康期の山名禪高」 講師:伊藤真昭教授(華頂短期大学教授 歴史学) ・「南園の楽しみかた」 講師:町田泰宣(日本南園院会長 龍山寺僧長) ・歴史討論「京の地と山名氏」 司会:山名名浩 当会会長(京都経済短期大学学長)
参加費:	一名 5,000円 (資料代等、当日に集金させていただきます。)
申込:	山名会ホームページ (http://yamana1zoku.org) からの申込、又は、下記事務局まで電話・メール・FAX等でお申込下さい。(定員:200名) お申込後に詳細ご案内を差し上げます。
締切:	平成28年10月末日まで。(資料等準備の関係上、ご協力お願い致します。)

全国山名氏一族会 事務局
〒667-1311 兵庫県美方郡
香美町村岡区村岡2365 法堂寺内
山名会ホームページ http://yamana1zoku.org
TEL:0796-98-1151 FAX:0796-98-1161

方にはポスターの掲示をお願いしております。お手元に届きました際には、ご商売なさっている場合はお店や事務所の片隅で結構ですので掲示お願い致します。また、近隣の公共の掲示板等でも広報願えれば有り難いです。ご協力よろしくお願い申し上げます。

秀吉・家康期の山名禪高

歴史講演の第一講の伊藤真昭先生には「秀吉・家康期の山名禪高」という演題で講演をお願い致しております。

山名禪高(豊国)公は下克上の戦国時代には最後の因幡守護職として、また、江戸時代に入っては村岡山名の第一世として活躍され、今に続く山名氏八百有余年の流れの中から見れば、武家・山名家存亡の危機から苦勞の末に家名を後世に伝えた中興の祖とも言える人物です。

しかし、山名氏内部的には一族の名を残すことに尽力したと評価する一方、豊臣の鳥取城攻めでは家臣の反対を押しきり降伏に走ったとか、生涯中幾度かあった変節



山名禪高(豊国)公、今回の演題にも竹田城に所縁が深い。

での変わり身の早さ等から、「粗忽者」とか「暗愚な絵大将」とか世間的な評価はあまり芳しく有りません。

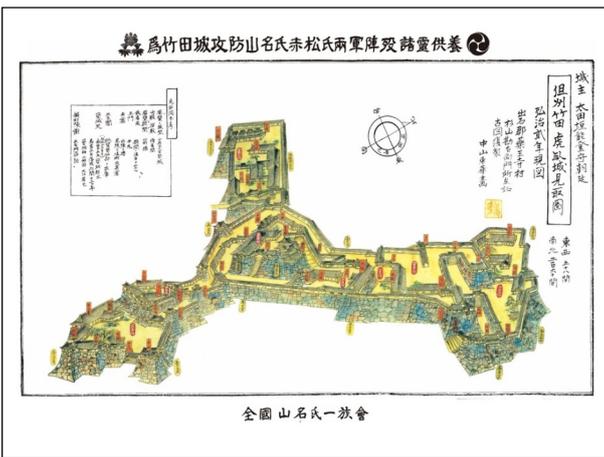
この度の伊藤先生の講演では、文献研究の立場から見た山名禪高の姿に迫っていただき、どのような人物像・武将像が導き出しているだけるか楽しみでもあります。

資料「虎臥城見取図」

前号でもお伝えしたように、第23回総会の記念品は平成元年に作成した「虎臥城見取図」の複製版を予定致しております。印刷元に問い合わせたところ、完成品を数枚保存されており、それを元に複製印刷が出来るとありますが、27年前に作成した

見取図で、当時の協力者の方々でお元気な方も少ないのですが、幸い「虎臥城見取図」作者・東華先生のお孫さんの中山市朗氏（小説家・放送作家）と連絡をとることが出来、また、中山氏には「虎臥城見取図」の紹介文を一筆いただくと協力も得られそうです。現在復刻版・見取図の作成の最終段階に向かっていくところですよ。

言うまでもなく、山名氏と竹田城の縁は深く、山名宗全が竹田城の築城を命じ、歴代城主は山名四天王の大田垣氏が務め、生野銀山の守りの為、また播磨の赤松氏牽



全国山名氏一族会

制の為に重要な役割を担っておりました。

その後、戦国時代末期には赤松氏の城となり、江戸時代となって竹田城の廃城が決まり、その受け取りに家康公の命を受けて出向いたのが、歴史講演で伊藤先生に語っていた「山名禅高」。

ここでも偶然とは言いながら、どこか因縁めいたものを感じてしまいます。

宿泊込みのお申込は早めに

昨年の山名会行事では当日の宿泊は絶望的でしたが、本年は山名会行事が行われる11月13日（日）に宿泊可能なホテルをシングル10室を押さえております。ご希望の方は早めに参加申込書に書き添えて、お申し込み下さい。

ホテルユニゾ京都四条烏丸。



京都市下京区四条通西洞院東入郭巨山町8番
TEL 075-241-4125

朝食付きで1.6万円

宿泊込みの参加申込みは9月末日までに申込みハガキでご連絡下さい。

宿泊無しの場合参加申込み締切は10月末日までです。

編集後記にかえて

なかなか一気に準備は進みませんが、案内の発送までこぎ着けました。皆様方からの反応をお待ち致しております。参加かどうか迷われた場合は、取り敢えず参加で返事をして、様子を見るところのも一つの方法ではありません。皆さんのご参加お待ちしております。

ご参加のほどお願い致します

さて、会員様向けの行事案内も発送し、一般聴講者向けの講演会ポスターも配布いたしました。まだまだ、行事実施までにはやらねばならないことは山積みですが、少し一段落、ここ暫くは皆さま方の反応をお待ちする段となりました。

今の山名会では年一度の重要な行事で御座います。皆さま方なかなか出にくいことかと存じますが、今回は山名年浩会長様のご尽力もあって、都の紅葉が一望できるような素晴らしい講演会場をご用意いただきました。そのもみじを楽しんでいただだけでも、ご参加いただく価値は十分に有るように思っております。

皆様、どうかご参加の程をお願い申し上げます。

山名氏一族会第23回総会の日程 平成28年11月13日（日）

時間	予定・行事等
12・30	受付（京都華頂大学6号館4F「華頂ホール」）
13・00	知恩院参拝に向け移動 * 知恩院参拝
14・30	「秀吉・家康期の山名禅高」（仮）伊藤真昭先生
15・30	「南画の楽しみかた」（仮）町田泰宣先生
16・30	歴史討論「京の地と山名」（仮題）
17・00	山名会年次総会
18・00	懇親会場へ ちゃんこ料理「いころ」（円山公園内）